



ひだまり通信

Vol.3

発行:特定非営利活動法人ひだまり
〒699-0202

島根県松江市玉湯町湯町 1801-1

Tel 0852-62-2550 Fax 0852-62-2550

Email hidamari@polka.ocn.ne.jp



散歩 & 喫茶ツアー！



2019/05/21

5月21日火曜日、利用者12名、スタッフ7名で玉造温泉街までの散歩と喫茶店でお茶会をしました。

4月と5月生まれの方の誕生会も兼ねたツアー当日は天気も良く、お散歩には適した気候でした。喫茶店までは片道30分。往復60分ですから、かなりの運動量になったと言えます。



yori荘さん

今回はmame&cafeさんとyori荘さんというお店の2つのグループに分かれ喫茶しました。ソフトクリームやフルーツジュース、抹茶カフェなどみなさんで楽しみました。「おいしい」という声があちらこちらから聞こえてきたのが、うれしい感想でした。



実際事業所の近辺のことを知っているようで知らないことが案外多いものです。こうした地域を散歩するのは気持ちもいいですし、地元愛も深くなっていくことと思います。

また機会があれば、ぜひプライベートでもお店に行ってみるのも楽しいと思いますよ！



美味しいと好評だった「抹茶カフェ」
mame&caféさんの一品

お仕事紹介～叶い石のできるまで



～「叶い石」カード入れ作業～

右の「叶い石」お守りが出来るまでにはたくさんの工程があります。

第一弾は「カード入れ」です。8cm×4cmのビニール袋に青い「叶い石カード」を入れていくお仕事です。

ビニールが引っ付いているので、濡れティッシュ

で指先を湿らせ、袋を広げてカードを入れていきます。きちんと奥までカードを押し込むのがポイントです。

いまこの作業をしておられる方は、一日に600枚近く作っておられます。すごいですね！



新人さんのご紹介



松浦佳広(よしひろ)さん

今年4月1日よりひだまりのメンバーになりました松浦佳広さんです。

おだやかでまじめな方で、仕事にも少しずつ慣れてきておられます。一緒にがんばりましょう！

★松浦さんのコメント

松浦佳広と申します。宜しくお願い致します。

ひだまりってどんなところ？

その2

最近歳のせいで老眼が激しくなっています。遠くは見えるのに近くは眼鏡がないと見えにくい。不便です。そしてそんな大事な眼鏡をよくなくす(笑)困ったものです。

実はこの「老眼」も「障がい」と言えるかもしれません。ただ老眼の人は何千万人いる多数派であるのに対して、障がい者は圧倒的に少ない、つまり「少数派(マイノリティ)」であるということです。社会は多数派(マジョリティ)に合わせた環境を作ります。右利きの多い(多数派)日本は右利きの人を使いやすいような物を作る傾向にあります。自動改札機や急須の持ち手、ハサミ、パソコンのマウスなど…。右利きの方は使いやすいけど左利き(少数派)の方は使いにくさを感じますよね。(最近は左利き用の物もありますが)。このように障がいがある人にとっては階段の上り下りや漢字の読みだったり、物音など、気にならない物や出来ることができないことがあるのです。わたしたち「ひだまり」は少数派の方の集まりです。ですからその人その人に合わせた支援が必要になります。そして働きやすい生活しやすい環境を作るのが必須です。つまり老眼に眼鏡が必要なように、その人の障がいの特性に合わせた環境作りや道具を作るのがスタッフの大事な仕事なのです。

